

# 記入例 父母のどちらかが外国人の場合

## 記入に関する注意事項

- 訂正などをする場合、二重線をし、拇印(右手親指)を押印して下さい。修正液、白消しテープなどは使えません。
- 氏は戸籍に記載とおりの氏を記入して下さい。
- 続き柄は性別の出生順位となります。
- 病院名、ビルディング名などは記入しないで下さい。
- 外国籍者の氏名は戸籍に記載とおりの姓、名の順にて記入して下さい。
- 生年月日は日本国籍者は元号(昭和、平成)、外国籍者は西暦にて記入して下さい。
- 日本国籍を留保をする方は、「日本国籍を留保する」欄に署名及印(拇印可)が必要です。
- 下部欄外に連絡先(携帯番号、自宅電話番号)を記入して下さい。
- 届け出の右側にある「出生証明書」欄には記入しないで下さい。

届出日を記入して下さい。

## 出生届

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 届

在ミャンマー日本国

大使  
総領事

生 ま れ た	子の氏名	が い む 氏	た ろ う 名	父母との 続 き 柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡出子	長(男・女)・二(男・女)・三(男・女) 性別による出生の順位となります。	長 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	生まれたとき	病院の住所を番地までかたがて記入して下さい。			<input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いて下さい。	0 時 35 分
生 ま れ た と こ ろ	ミャンマー連邦共和国ヤンゴン地域バハン地区東シュエゴンダイン通り			番地 番 号			
子 の 父 と 母	父	ミャンマー連邦共和国ヤンゴン地域バハン地区ナツマウ通り100		世帯主との 続 き 柄	子	子が生まれた時の年齢	
	母	マウン マウン		日本国籍の方は、元号で記入して下さい。	外務 花子		
子 の 父 と 母	生年月日	1984 年 10 月 10 日 (満 28 歳)		昭和 59 年 11 月 20 日 (満 28 歳)	本籍地は、番地、番、号も記入して下さい。ダッシュ(-)などは使用不可。		
	国籍	外務 花子		父の国籍	ミャンマー	母の国籍	日本
そ の 他	同居を始めたとき	2012 年 5 月		結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほう	日本人とミャンマー人との間の子は、出生によってミャンマー国籍が付与されませんので、記入の必要はありません。		
	訂正に修正液などは使えません。間違えた場合は二重線をし、その上に右手親指の拇印を押して下さい。	該当するものにチェック(✓)を入れて下さい。			出生証明書名前欄が空白だった場合、記入して下さい。		
届 出 人	署名	ミャンマー名未定のため、出生証明書の名前欄は空白		日本国籍を留保する	署名	印	出生証明書と届書の氏名が相違する場合、同一人であることを記入して下さい。
	住所	ミャンマー連邦共和国ヤンゴン地域バハン地区ナツマウ通り100		「出生証明書に記載されている〇〇〇と届書に記載されている〇〇〇は同一人である。」又は「出生証明書には、〇〇〇と記載されているが、戸籍には〇〇と届け出る。」			自署したが、印がないので押印せず。
事 件 簿 番 号	本籍	東京都千代田区霞ヶ丘 2		番地 番 号	筆頭者の氏名	外務 花子	印鑑を忘れた方は、記入して下さい。
	署名	外務 花子		印	昭和 59 年 11 月 20 日 生まれ		

(届出人の連絡先及び電話番号 携帯 : 95-90-1234567 自宅 : 95-1-1234567)

印鑑又は拇印(右手親指)を押印して下さい。